

利用成果報告書

- 1 課題番号 H28-013
- 2 報告者 山東 信介 東京大学大学院工学系研究科
- 3 利用区分 成果公開有償利用
- 4 利用課題名 高速液体クロマトグラフ質量分析計を利用した人工分子の高感度検出
- 5 使用装置名 超高速液体クロマトグラフ・トリプル四重極質量分析装置
- 6 利用期間 平成 29 年 1 月 4 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日
- 7 利用成果・実績の概要 アミノ酸誘導体とペプチドの2種類の化合物について、LC-MSによる高感度検出に向けた測定条件の検討を行った。様々な濃度のアミノ酸誘導体をLC-MSを用いて測定したが、いずれの濃度においても測定対象の分子を検出することはできなかった。測定条件の詳細な検討や分子設計の見直しが必要であると考えられる。一方、ペプチドについては、LC-MS上で測定対象のピークが検出できた。今後、分子構造や検出条件などの検討を行うことで標的ペプチドのより高感度な検出を目指す。
- 8 社会・経済への波及効果 本年度は特筆すべき進展はなかったが、本研究が進むことで疾病の新規診断法の開発や創薬のシーズとなるような新たな化合物の創出が期待できる。
- 9 学会等における口頭・ポスター発表 該当無し
- 10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し